

世界法年報

第33号

2014年3月

国際法の「立憲化」——世界法の視点から——

論 説

国際立憲主義批判と批判的国際立憲主義

早稲田大学教授 最上敏樹 1

「立憲化」にとっての分権化と集権化

——ケルゼン法理論における理論と現実——

長崎県立大学講師 福島涼史 33

国連安全保障理事会と国際法の「立憲化」

——法的コントロールの問題を中心に——

山形大学准教授 丸山政己 65

先住民族の事前の自由なインフォームド・

コンセントを得る義務

——国際人権法の環境・開発分野への影響の限界と可能性——

中京大学准教授 小坂田裕子 94

世界貿易機関 (WTO) と国際法の「立憲化」

——紛争処理手続への加盟国コントロールの問題を中心に——

小樽商科大学准教授 小林友彦 123

学会だより

2014年度研究大会のお知らせ

2013年度学会活動記録

訃報